

賛助会員へのご加入 ありがとうございます (年会費：団体1口1万円、個人1口1千円)

平成30年5月から7月末日までにご加入いただいた方をご紹介します。 ※敬称は省略させていただきます。【順不同】

- 【個人】 浜岡 晶子・若山香代子・石田由香里・宮坂 孝子・岩谷くる美・山田 洋子・竹内 直美・田中紀代子・清本 勝代・尾崎 公子・竹田 康昌
 高瀬 康明・中村多恵子・福島すま子・小野山三枝子・利光 鑑夫・小村 完治・秋成 武典・香川小夜子・富来 憲章・小林久美子・藤島 智子
 稲益 富子・森口 秀子・内藤 照子・磯金大二郎・白川 英文・京極 義徳・内藤 房子・今村なおみ・中野佳津子・岡田 康夫・松澤 義行
 吉田 雅晴・平原 国浩・古河憲代美・品田 隆志・白石 雅子・吉岡 勝子・是則 宗孝・山岡 愛子・嶋田 恵子・木村 利恵・土井 雅嗣
 藤原 俊和・家倉五十二郎・藤山 純一・小野 武芳・相川 勝行・木戸 一雄・山路 京子・山崎美代子・伊森香代子・安田アキエ・岩元 忠弘
 岡村美恵子・安藤セツ子・松本シゲ子・窪園眞佐子・徳永 ヨウ・久保 迪子・西村 光子・正池 雄二・末村 卓英・光武 洋子・草本 妙子
 笹本 朋子・村田 修子・藤井 博文・中洲 康生・小野登代子・岡本三津子・横田 成美・尾崎 和子・岩本富士夫・上野 真弓・渡邊 智子
 小島 有然・片山 純子・久鍋多佳子・富来 朝子・宮下 勝馬・木邊 文夫・野口 糸子・古田 眞弓・杉本あつ子・宮本 修次・堀山 妙子
 清水 幸・石本美佐江・赤塚 秀美・早野 堅三・松山 洋一・堤 満洋・今村 伸夫・白旗 雅彦・柴崎 博文・樋谷 洋二・安田 敦子
 馬場 葉子・久保 洋子・古川 充教・小原 光枝・朝倉 敬子・島田 洋一・安藤 博之・印口美枝子・大津久 忠・青木 卿代・森下満里子
 亀井 直子・中村 照子・山路 治枝・山口 芳子・高尾 茂・久門 貴子・井手政次郎・中井黄美男・中村 明子・黒瀬 善門・熊谷 照彦
 長尾 一正・早川 和子・渡邊のぶ代・森 陽子・坂根三恵子・西岡千代子・中江美由紀・梶崎 正信・福島 聖晃・坂井 澄江・吉村 悦雅
 島本喜多江・上田 暢子・近藤 進・中野 裕史・遠越 朱實・嶋田 一豊・篠塚 久・岡田 マミ・高木 成美・土井 聖子・田北久美子
 森山めぐみ・渡辺 満子・出口 正助・井上 雅信・永津由美子・大島 正・中川久美子・野口 忍・岡田 勝彦・吉田 誠・大本志乃武
 大島 美香・山口 和生・井尾 千恵・吉松 元位・中川 周二・星野ハルミ・小田 保子・土井 悦子・松下 悦子・大野 順子
 奥村 宏・松田 好仁・大原 雅弘・川村眞由美・植原 文雄・金子 純子・岩下 浩・上向 照彦・森下 孝子・中口久美子・生野 智之
 樋口 賢宏・藤井 徳榮・熊毛屋武雄・友瀬 隆・末永 文江・野口 悟・中西由美子・権代ミヤ子・安倍 照家・光廣美津恵・日野村登美子
 石津 勝子・野坂千恵子・増田 英司・小川 正和・立石 敏和・藤岡さき江・宮村 正信・菊池 照代・浅田トモエ・羽田野浩美・佐藤 恵子
 川北 節子・馬部 文子・淨西 久枝・松尾 直之・小原 琢治・藤原富美江・山本 妙子・五阿彌敏美・住田 朋子・中尾 裕子・黒田 静江
 平野 良子・守田 晴子・藤原 洋子・岸本 広子・木部 敏江・岡田 尚代・神田 忠男・吉広 清・加藤 寿美・武田 敏子・鎌倉 初子
 石川 道子・松江 良子・上田 曜子・入倉 晶香・今林 優子・瀬藤 昭・入倉 敏彦・吉野 益生・門田 正信・熊谷 泰子・田尻眞知子
 藤原多貴子・上野みどり・中原 三美・小比賀みや子・角 豊子・坂原 京子・国広 杉代・入学志香代・藤本 明香・妹尾 法子・田口 敏子
 古賀よし江・石橋タミ子・品川 征子・稲田きよか・矢野 正子・三浦 敬子・岩本多美子・羽田野真由美・坂本 幸子・川口 千鶴・山田 文子
 豊田須美江・米原美美子・福本 須雅・田島 富美・瀬川 保・宇都宮慎吾

【団体】 萩ヶ丘自治連合会・萩ヶ丘まちづくり協議会・門司区役所 部課長会・門司区更生保護女性会

正会員のご紹介

門司区社会福祉協議会理事・評議員選出団体の皆様には、正会員として会費の拠出にご協力いただいております。

- 【校区】 西門司校区社会福祉協議会・藤松校区社会福祉協議会・大里南校区社会福祉協議会・大里柳校区社会福祉協議会・萩ヶ丘校区社会福祉協議会・大里東校区社会福祉協議会・小森江西校区社会福祉協議会・小森江東校区社会福祉協議会・錦町校区社会福祉協議会・丸山校区社会福祉協議会・庄司校区社会福祉協議会・古城校区社会福祉協議会・門司校区社会福祉協議会・清見校区社会福祉協議会・田野浦校区社会福祉協議会・白野江校区社会福祉協議会・大積校区社会福祉協議会・柄杓校区社会福祉協議会・伊川校区社会福祉協議会・松ヶ江北校区社会福祉協議会・松ヶ江南校区社会福祉協議会

- 【団体】 門司区身体障害者福祉協会・門司区自治総連合会・社会福祉法人北九州市門司民生事業協会・門司区老人クラブ連合会・門司区民生委員児童委員協議会・門司区婦人会連絡協議会・門司区環境衛生協会連合会・門司区遺族会連合会・門司防犯暴走協会連合会・門司区公民館連絡協議会・北九州市門司区医師会・門司区保護区保護司会・一般社団法人北九州市保育所連盟門司支部・門司区青少年育成協議会連合会・一般社団法人北九州市母子寡婦福祉会門司地区

ご寄付 ありがとうございます

平成30年5月から7月末日までにご寄付いただいた方をご紹介します。 ※敬称は省略させていただきます。【順不同】

一般寄付

7月 貞方 實則 園本・上田 小田 光江

シルバー文化祭 & ぬくもり作品展 10/11(木)・12(金)・13(土)

第40回 シルバー文化祭

10時から16時まで(13日(土)は15時まで)
 高齢者による絵画や写真、手芸、書道などの展示

第25回 ぬくもり作品展

10時から15時まで
 障害者団体等による作品展示やパン、菓子、小物などの販売

旧大連航路上屋 1階 多目的スペース **入場無料**
 北九州市門司区西海岸一丁目3番5号 **駐車場完備**



門司区社協の新事務局員紹介



主事 **宇都宮 慎吾**
 ふれあいネットワーク活動など地域福祉活動を担当します。

社会福祉法人 北九州市門司区社会福祉協議会 〒801-8510 北九州市門司区清瀬一丁目1-1 (門司区役所内) 電話 (093)331局3688番 FAX (093)331局5994番 門司区社協 検索

ふれあいネットワーク

もしくしゃきようだより 門司区社会福祉協議会

平成30年 9月15日号 No.111
 発行：社会福祉法人北九州市門司区社会福祉協議会 会長 宮原 深海



平成30年7月豪雨災害 ー災害ボランティア活動ー

この度の豪雨災害で被災された区民の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

多数の被害を出した今回の災害から、「北九州市では災害が起こりにくい」という認識が一変しました。

社会福祉協議会では被災者から自宅等の復旧に向け、多くの相談が寄せられ、ボランティア・市民活動センターにて支援活動を展開しました。猛暑の中、たくさんのボランティアさんの温かいご協力により災害ボランティア活動が行われました。

ボランティアは個人での参加の方ももちろん、様々な団体・グループでのご参加がありました。また、区内では社会福祉法人春秋会「好日苑大里の郷」様に活動拠点をご提供いただくなど、7月14日からの3連休で門司区を拠点とした支援活動を集中的に行うことができました。活動にあたっては、自治会等多くの関係機関・団体にご協力いただき、被災者に寄り添った活動を行う事ができましたことに厚くお礼申し上げます。

しかしながら、今なお、元の生活には戻れていない被災者もおられることや、いただいたご相談の中には様々な理由で支援をさせていただくに至らなかったものもありました。今回の経験を地域住民の皆様と共有し、今後の支援活動に活かしていく必要があると考えています。



大里東校区での活動



好日苑でのセンター運営



萩ヶ丘校区での活動

災害ボランティア活動状況

平成30年8月18日現在

	活動対象世帯数	活動件数(延べ)	ボランティア数(延べ)
全市	44世帯	52件	525人
区内	29世帯	35件	372人

住民主体の福祉救援体制づくりが進んでいます

ふれあいネットワーク活動では、普段の見守り活動を基盤にした災害時にも強い福祉のまちづくり「福祉救援体制づくり」が進められています。

福祉救援体制は、見守り活動の中で災害時に特に安否確認や避難支援が必要な世帯を把握し、住民や関係団体が支援方法や役割分担を確認します。また、図上訓練や実際の避難支援を想定した模擬訓練を行い、住民を対象とした啓発講座の開催等を日常の活動の中で行っていきます。

区内では6校区が取り組み、自治会や民生委員・児童委員、市民防災会と協働しながら、安心なまちづくりに取り組んでいます。



ウェルクラブ活動

～交流が育む福祉の心～

超高齢化社会となった今、地域の福祉活動者の確保が課題となる中、次世代の地域福祉を担う子どもたちがウェルクラブ活動に取り組んでいます。



大里柳校区では毎年、5年生児童が福祉協力員や民生委員・児童委員と一緒に高齢者宅への「ふれあい訪問」を行っています。この活動は、平成8年からの継続事業です。

活動が始まって二十数年、小学生だった子どもたちは成長し、社会の中でそれぞれに活躍しています。今回はその中のお一人、是則明秀さんにお話を伺いました。

是則さんは小学校5年生の時に参加し、訪問後、子どもたちだけで遊びに行ったりするようになったそうです。中でも心に残っているのは、高齢者と一緒に家の中で「かくれんぼ」をして遊んだことで、「今も鮮明に思い出されます。」とのこと。

大里柳小学校では、他にも6年間を通して様々な交流を行っており、交流を重ねる中で、自分が見守られ、また、見守る側でもあることを感じ、地域がより身近な存在になっていったそうです。「福祉の心は日常からの関わり、小さな事の積み重ねで育まれていきます。」と締めくくられました。

- 当時の活動が今の自分につながっていることは？ -

「子どもだけではわからなかった地域のみなさんとのつながりや接し方を学びました。いまもお年寄りとのつながりが続いていて、自分の成長を見守ってもらってきたことに感謝の気持ちでいっぱいです。」

- これから活動する子どもたちへ伝えたいことは？ -

「年長者への配慮が生まれることで相手に合わせて考える力が身につきます。いましか体験できない貴重な経験を積み重ねれば、新たな気づきやチャレンジ精神が生まれます。その時だけでは終わらせず、経験を普段の生活に生かしてほしいと思います。」



(是則 明秀さん)

社会福祉法人による地域支援活動が始まっています!

社会福祉法人はこれまでその専門性を活かした地域支援活動(地域公益活動)に取り組んできましたが、平成27年度に社会福祉法が改正され、その責務がより明確化されました。



連絡調整会議に参画する施設職員(手前)

それを受け、北九州市社協と北九州高齢者福祉事業協会が「地域における公益的な取組に関する協定」を締結し、その会員法人・施設が校区社協活動に参画しています。区内では、平成29年度から大里柳校区の地域福祉活動に、サポートセンター門司と好日苑大里の郷の2施設が定期的に参加し、専門職の知識や技術を生かした支援や助言を行っています。

区社協ではこの取り組みが区内に広がり、地域福祉活動が充実していくよう支援していきます。

平成30年7月豪雨災害義援金を募集しています

7月の猛烈な豪雨により市内及び広域な県・市町村で、土砂災害や河川の氾濫等による住宅の全半壊、床上・床下浸水など甚大な被害が発生しました。これを受け被災地の復興支援の一環として募金箱が各区役所に設置され、被災県共同募金会を通じて被災者支援に役立てられます。皆さまのご協力をお願いします。

平成30年7月豪雨災害義援金募金
受付期間/平成30年7月10日～平成30年12月28日

ひとり、ひとりのやさしさから 赤い羽根共同募金

10月1日から全国一斉に「赤い羽根募金運動」が始まります。あなたの優しさが、地域の様々な福祉活動に役立てられます。今年も赤い羽根共同募金へのご協力をお願いします。



ギフトショップ・カレンダー (広告)

SINCE 1924 **たいふんどろ**

贈り物のことなら お任せ下さい

門司区栄町11-27 (ハローデイ斜め前)

☎331-1181

ボラねっと

ボランティア・市民活動センターでは、年間を通じて様々な講座を開催しています。次世代を担う子どもたちを対象にした講座も行っており、福祉への理解を推進しています。夏休み福祉体験講座と区内の小・中学校を対象にした福祉体験学習をご紹介します。

～夏休みお仕事体験「しあわせつくる介護の仕事」～

特別養護老人ホーム豊寿園(門司区畑)で8月2日(木)に行われた講座には18人が参加し、水分のトロミつけ、リネン交換等の介護体験や口腔ケアなどの看護体験のほか、体操や生け花、ゲームなどを一緒に行いました。



<アンケートより>

- ・お年寄りの方々の距離がグッと縮まった気がしました。
- ・介護や看護は私が思うよりも大変だと体験してわかりました。介護用に車いすやお風呂などに色々工夫されているんだなと思いました。

8月8日(水)に開催した特別養護老人ホーム好日苑大里の郷(門司区大里戸ノ上)での講座には13人が参加し、タオルたたみや食器洗い、ラジオ体操後の配茶などのお仕事体験や施設見学を行いました。



<アンケートより>

- ・おばあちゃんたちと会って話しかけてもらってとてもうれしかったし楽しかった。
- ・職員の人たちがいろいろ考えて、利用者の人を楽しませる工夫をしていることがわかった。

福祉体験学習

ボランティア・市民活動センターでは、年間を通して区内の小・中学校で、車いす体験、高齢者・視覚障害者体験、認知症サポーター養成講座を実施しています。

昨年度は、5校で352人の小・中学生が体験を行い、地域の方々にも見守り支援として参加いただきました。今年度はすでに1校で実施、6校で実施予定です。

高齢者疑似体験等を通して、お年寄りや障害者の不便さを知り、優しく接したい、自分に出来る手助けをしたいという福祉の心を育むお手伝いをします。



身体が思うように動かず

アイマスクと白杖を体験

ボランティア連絡協議会だより

5月18日(金)に開催された総会には68人が参加し、今年度実施予定の清掃活動や研修などの事業計画等について議事が行われました。

その後、打越あゆみさんによるハーブ演奏があり、日頃聞く機会の少ないハーブの音色にしばし聞き入り、すばらしいひと時を過ごすことができました。

門司区ボランティア連絡協議会では、会員を随時募集しています。入会方法など、お気軽にお問合せください。



議事が全て承認されました

ハーブの音色に癒され!

こんにちは民生委員です!

平成30年7月豪雨災害を振り返って

今回の災害では、民生委員・児童委員の中でも被災された委員がおり、改めて被害の大きさを痛感させられました。発災当日から地域で要支援者の支援にあたった民生委員・児童委員の一人、小森江東地区都城俊彰会長にお話を伺いました。

町内会長も務める都城会長は、自治会の動きと民生委員の連携が非常に重要だったと振り返ります。自治会が地域の被害状況を把握し、各世帯の確認や支援体制づくりを行う中、都城会長も町内会長としての動きの一方で、避難の声かけや支援を行いました。大きな自然災害を前にできることは限られ、地域全体で対応する必要を感じたと話されます。

「民生委員もまずは自分の命を守ることが第一。早めの声掛けなど民生委員の活動の範囲でできる限りのことは行うが、不安のある方は早めの自主対応を心がけてほしい。」「他地区では民生委員自身も避難が困難になった事例があった。できることには限界があるので、地域での情報の共有や、住民同士の助け合い、何よりも自分の身は自分で守る意識が大切だ。」と話されました。

